平成30年度第2回高知県食育連携推進協議会 議事要旨

日時:平成31年2月20日(水)午後2時~午後4時

場所:高知会館 3階 弥生

出席者:委員8名(欠席5名、代理1名)

事務局11名

(食品・衛生課1名、地域農業推進課1名、漁業振興課2名、

幼保支援課1名、生涯学習課1名、保健体育課1名、

健康長寿政策課4名)

○協議事項

(1) 第3期高知県食育推進計画進捗状況について

(2) その他

○議事等概要

(1) 第3期高知県食育推進計画進捗状況について

今年度の取組実績について、第3期高知県食育推進計画の第4章の第1節から第4節までの主な 取組を担当課及び委員が報告を行った。

<第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進>

委員から、地域食育推進事業や学校訪問事業の実施報告や、学校では教材となる学校給食を提供 し、小学校5年生、中学校2年生を対象にした食育のアンケートを実施するなど、朝食摂取の推進 について報告があった。

担当課から、3歳児の保護者を対象に基本的生活習慣の大切さの周知や生活リズムチェックカードの配布、学校においては、ボランティア団体による朝食提供活動の実施、小学生の健康教育副読本の改訂、農林水産業関係団体と連携した調理等の体験学習や出前授業の実施について報告した。

<第2節 健康長寿を実現する食育の推進>

委員から、量販店等での食育イベントや高齢者向けのシニアカフェの実施、男性の料理教室、栄養ワンダー2018での啓発活動、健診後の特定保健指導による生活習慣の行動変容などについて報告があった。

事務局から、減塩プロジェクトの事業で参加企業に POP を作成し配布を行ったこと、健康パスポート事業を通じた野菜摂取の啓発について、また、歯と口の健康づくりでは、フッ化物洗口の実施と歯周病予防対策について報告した。

<第3節 食の理解と継承>

委員から、郷土料理、災害食メニューなどについての学校や地域での伝達講習、全国からの注目 度が高くなってきている高知県の食文化についての紹介、地道な活動として収穫から加工までの体 験実習、災害時の栄養・食生活支援活動についての取組、そして学校では、高知県の郷土料理や地 域の食材をつかった学校給食メニューの提供、防災給食の提供などについて報告があった。 担当課から、土佐の料理伝承人による郷土料理伝承会の開催、地産地消の取組として直販所の活性化セミナーの委託事業の実施、地元食材による魚食調理実習、県内の水産物を積極的に PR していく「今日はさかなにしよう」推進パートナー店制度への登録、意見交換会(リスクコミュニケーション)の実施、食中毒予防の普及啓発、学校給食では地産地消の推進として「高知の食べものいっぱい入っちゅう日」の取組、また、6月にカレーの日、11月にだしの日を設定した取組について報告した。

<第4節 食を育む環境づくり>

委員から、地域の方や関係団体の方との連携による食育の推進が必要であること、また、企業と の連携など積極的に様々な他の団体との連携を強めていきたいと報告があった。

事務局から、食育に関する人材育成として行政栄養士の人材育成ガイドラインの作成、ヘルスメイト等のボランティアの養成、また、県民に広く啓発を行うために、企業と連携した官民協働の取組の充実や県民運動の推進について報告した。

【質疑】

- ・委員から、学校での食育として魚食の取組を実施したい場合の依頼先について質問があり、担当 課から、地域の漁業指導所に依頼することを説明した。
- ・委員から、農林水産業関係団体と連携した調理等の体験学習や出前授業の直近の実績値について、県として啓発を行った人数を目標値として設定しているかとの質問があり、担当課から、学校単位で実施した数を実績としていると説明した。
- ・委員から、食育の日(毎月19日)の取組について、以前は19日の食育の日に取組を行ってきたが、集客が極端に少ない日もあり、昨年から店舗毎に希望の日で実施してきた。しかし、県民運動の推進として、19日に統一した方が良いのかと質問が出され、他の委員からも、食育の日は毎月19日として周知した取組事例について報告があった。事務局から、県としての決まりはないため、来年度の1回目の協議会で考え方を示す旨を説明した。

(2) その他

事務局から、平成30年度「食育月間」等の取組実績一覧について、毎年食育に関する取組事例 について関係機関から提出をいただき、農林水産省へ報告を行っていること、そして報告した取組 内容については、農林水産省のホームページに掲載されていることについて説明した。

委員から、こういった情報収集は参考にさせていただきたいとの意見があった。

他に意見なし

今回の協議内容について了承され、以上で会議を終了した。